

## 次期計画の基本方針等について

産業政策課

## I 次期計画の基本方針

## 次のような視点でいかがか？

## 1 策定の趣旨

- 長野県経済の閉塞感、長野県産業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、
- 新たな市場への展開による産業の持続的な発展、新たな雇用の創出を目指して、
- 長野県産業の強み、豊かな自然環境や健康長寿県としての優位性を生かすことにより、
- 国際競争力と地域創成力を備えた長野県産業構築するために、
- 本プランを策定し、道筋の提示、具体的な取組を推進する。

## 2 性 格

- (1) 旗 印 産学官が連携して一体となった取組を推進・誘発するために、長野県産業や支援機関等が共有できる**旗印（将来の方向性）**を示すもの。
- (2) 拠り所 国の施策、県の中期総合計画との整合を図り、重点プロジェクトや施策の裏付けとなる**拠り所**としての役割を果たすもの。
- (3) 発 信 長野県産業の魅力、県のビジョンを内外に**発信**するもの。

## 3 計画の期間

平成24年度～28年度（西暦2012年度～2016年度）までの5年間

## 4 長野県産業の目指すべき方向

- 例 ・次世代産業への取組の拡大
- ・新興国等の海外市場への展開、海外とのネットワーク構築の加速
- ・県産ブランドの向上・高付加価値化（地域資源活用・農商工連携 等）

## 【現行の産業振興戦略プラン（平成19年度～23年度）抜粋】

## ◇策定の趣旨

長野県経済の回復の遅れや経済・社会情勢の変化を踏まえ、長野県経済の再生と持続的発展、県民の豊かな生活の実現を目指し、全国に誇る加工組立型産業の集積や豊富な地域資源等の長野県が従来から備え持つ潜在力を最大限に発揮して力強い長野県産業経済を構築するための道筋を提示するため、本戦略プランを策定する。

## ◇性 格

行政、企業、大学、金融機関及び支援機関が、目指すべき方向や取り組みに対する意識を共有し、それぞれの役割を果たしつつ連携し一丸となって長野県産業の振興に取り組むための基本的指針とする。

## ◇目指すべき方向

長野県の持つ潜在力を活かし マーケティング力と技術力を高め 世界市場へ飛躍する長野県産業を構築  
～メイド・イン・NAGANOを世界へ～

## Ⅱ 長野県経済の現状と課題

### 次のような捉え方でいかがか？

#### 1 長野県経済の現状

##### (1) 長野県経済の現状

県内総生産、県民所得、出荷額等の推移 他

##### (2) 長野県産業を取り巻く情勢の変化

###### ア 加速する情勢の変化

環境・エネルギー（省エネ・新エネ）のニーズの高まり、健康・安全ニーズの高まり、社会課題の顕在化、少子高齢化・人口減少、新興国市場拡大、新興国の工業力台頭 等

###### イ 急激な情勢の変化

リーマンショックの発生、東日本大震災の発生、電力供給制約の懸念 等

##### (3) 長野県・長野県産業の特徴・優位性

産業構造の特徴、産業の優位性、長野県のイメージ・魅力（例：健康長寿、生活環境）、立地上の特徴（交通インフラ、防災面等） 等

#### 2 長野県・長野県産業の課題

##### (1) 産業の直面する問題

国際競争力の低下、製造業の雇用吸収力の低下、震災による経済活動の制約 等

##### (2) 県民の根幹的なニーズ

安定した所得と雇用の確保、将来の所得・雇用への不安払拭

##### (3) 長野県産業の課題

製品・サービスの高付加価値化、新たな市場の獲得（企画・開発力、コスト競争力、販売力やそれを担う人材の育成・確保など総合的なマーケティング力を市場ニーズの視点から強化する）

#### 【製造業部会の報告－製造業の目指すべき姿と支援の方向性－（平成23年3月）抜粋】

##### ◇環境の変化

- ・新興国市場拡大
- ・グローバル価格浸透
- ・新興国ハイテク化
- ・少子・高齢化の進展
- ・社会の課題の顕在化
- etc.

##### ◇長野県企業の特徴

- ・熟練技能・高度技術を有する企業 の存在
- ・下請・賃加工型の企業が多数存在
- ・川上、川下分野への展開が少数
- etc.

##### ◇直面する課題

- ・販売価格低下による収益の悪化
- ・中小零細企業減少
- ・技能者、技術者減少
- ・技術優位性の低下
- ・国際競争力の低下
- ・製造業の雇用吸収力の低下